

2009年7月31日

各 位

オリックス株式会社

人流管理システムを活用した省エネ実証実験を開始

～オリックス新宿支店の空調電力消費量を最大10%削減～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：梁瀬 行雄）は、株式会社ベクトル総研（本社：東京都渋谷区、社長：末松 孝司）の「低コスト人流・省エネ管理システム（ビルCOP3）」を活用した省エネ実証実験を行います。

ビルCOP3は、室内の在館者数を防犯センサー等で自動計測し、日々の在室者数パターンや消費電力データを照合しながらフロアの換気を自動制御、室内環境を適正に保ちながら省エネを実行するシステムです。人が多い場所では集中的に換気を行い、人のいない場所では換気を抑えることで、不必要な室内空調の稼働やCO2排出の抑制が可能となります。また、オフィスの出入口にはエネルギー消費に関するディスプレイが表示されており、室内にいる従業員がリアルタイムでエネルギーの使用状況を確認できます。こうした「見える化」の推進により、従業員一人一人の環境への意識を高めるとともに、削減目標の達成努力を促進します。

得られた人流データは、防災や保安業務の効率向上にも利用が見込め、将来的にはオフィスビルだけでなく病院や学校、商業施設にも適用できます。

ベクトル総研の同システム開発は、環境省委託事業「2007～2009年度 地球温暖化技術開発事業 省エネ対策技術実用化開発分野」に採択され、現在特許出願中です。「建物内部の人の流れ」に着目した新しい環境技術として、不動産会社をはじめとする各企業がその技術に注目しています。

オリックスグループでは2012年までの環境活動を「ECORIX2012」として推進しています。現在、従来から取り組んでいる循環型社会の実現に向けたサービスに加え、自らの事業活動の低炭素化を進めながら、お客さまにご提供するサービスを通じて低炭素化を推進し、低炭素社会の実現に取り組んでいます。

【実験詳細】

場 所 : 東京都新宿区新宿 4-3-25 オリックス新宿ビル 10 階
オリックス株式会社 新宿支店 および
オリックス自動車株式会社 リース営業本部東京営業第三部

期 間 : 2009年8月3日～2010年1月16日

目 標 : 換気の自動制御と省エネの「見える化」で同支店の空調電力の消費量を最大10%削減

以上

< 本件に関するお問い合わせ先 >
社長室広報担当：内田 TEL：03-5419-5102